

『命の山王』

No. 28 [2018年11月21日(水)]

チコちゃんに叱られる？

今年の春からNHKで始まった「チコちゃんに叱られる」という番組を知っているでしょうか。チコちゃんが気付いた素朴な疑問に答えられないと「ポーッと生きてんじゃね～よ！」と叱られてしまうことになるのですが、1度見てからついハマり込んでしまい、毎回見えます。少し前の疑問に「大人になると1年がアツという間に過ぎるのは、なぜでしょうか？」というものがありました。その答えは「人生にトキメキがなくなったから」というものでした。

私のような年になると、もはや人生に対してトキメキというのは少なくなってしまうのは、よく分かります。といいながら、生徒と一緒にベートーヴェンの「第九」を鑑賞したり、一生懸命に生徒が歌う姿を目にしたりすると、心が動きます。まだトキメキを感じているのかもしれない。

現在の中学生はどうなのでしょう。チコちゃんによると、時間を長く感じるのは19歳ぐらいまでで、後はどんどん短く感じるそうです。だからこそ若い時の経験はとても大切なのです。その経験とは特別なことではなく、スポーツで感動的な場面に出会ったり、誰かの素晴らしい話を聞いた時だったり、あるいは中総体や合唱コンクールの一場面だったり、それぞれが気付くことがあるはず。

しかし、すごくよい話や感動的な場面を耳にしたり目にしたりしても、その経験を当たり前のように見過ごしてしまっている場合があるのではないかと不安を覚えることがあります。以前に比べれば、学校生活の中では、体験的な行事や講話会等の機会がとて多くなりました。しかし、大切なことは、その経験や機会を見逃さず、自分の中に取り入れることなのだと思えます。毎日がエスカレーターや動く歩道のように、ただ過ぎていくだけと思っているのだとすれば、最も大切なところに気が付かないで毎日を終えてしまっているのではないのでしょうか。

振り返ってみれば、私自身の経験として「中学3年生で教えられた平和に対する考え方」「先輩が語ってくれた忘れられない言葉」「初めて自分の小遣い行ったオーケストラのコンサートの演奏」など、何十年たっても決して色あせない瞬間がいくつもあるのを、未だによく覚えています。

現在の山王中生がこの3年間で、少しでも多くの宝物のような瞬間を積み重ねていってくれることを期待していますし、この学舎を巣立つ瞬間まで、それを続けていってほしいです。そうでなければチコちゃんから「ポーッと生きてんじゃね～よ！」と叱られてしまうことになるのかもしれない。

〔生徒指導主事：木内記〕

気温が下がってきました…

今年はいまだ暖冬傾向で、気温も高め推移してきましたが、さすがに11月も半ばとなり、冬の気配が強く感じられるようになりました。今週末には平地でも雪の予報が出ています。

生徒の登校状況を見ていると、まだコートなどの防寒着を着用しているのは半分ほどです。マフラーや手袋だけでなく、ぜひ防寒着の着用について、ご家庭でも一声お願いします。

降雪時の自転車は禁止です！

各クラスでも連絡していますが、降雪時の自転車は禁止となります。前日まで降っていなくても、朝に降雪があれば、乗らないでください。また、登下校に限らず、降雪時は自転車には乗らないでください。自転車は雪道での運転には向いていません。交通安全に心掛けましょう。